

PHILHARMONIX

THE VIENNA BERLIN MUSIC CLUB

フィルハーモニクス ウィーン=ベルリン with 中谷美紀

[出演]
フィルハーモニクス ウィーン=ベルリン
Philharmonix THE VIENNA BERLIN

ノア・ベンディックス=バルグリー(ヴァイオリン) / Noah Bendix-Balgley, Violin

セバスチャン・ギュルトラー(ヴァイオリン) / Sebastian Gürtler, Violin

ティロ・フェヒナー(ヴィオラ) / Thilo Fechner, Viola

シュテファン・コンツ(チェロ) / Stephan Konz, Cello

エーデン・ラーツ(コントラバス) / Ódón Rácz, Contrabass

ダニエル・オッテンザマー(クラリネット) / Daniel Ottensamer, Clarinet

クリストフ・トラクスラー(ピアノ) / Christoph Traxler, Piano

中谷美紀(朗読) / Miki Nakatani, Recitation

「ウィーン・フィル」「ベルリン・フィル」の
トップ・プレイヤー達が贈る最高のステージ!
中谷美紀とのコラボによるカーニバル(謝肉祭)を世界初演!

2023.12/13 [水]

東京オペラシティ コンサートホール 京王新線[初台駅・東口]に直結

昼公演 (アフタヌーン・コンサート・シリーズ 2023-2024)

13:30開演 (12:50開場)

全席指定 ¥7,500

主催: ジャパン・アーツ 協力: ユニバーサル ミュージック

夜公演 19:00開演 (18:20開場)

S席 ¥8,500 A席 ¥7,000円 B席 ¥5,500円

主催: ジャパン・アーツ 共催: 公益財団法人 東京オペラシティ文化財団

協力: ユニバーサル ミュージック

〈お申込み〉

ジャパン・アーツぴあ 0570-00-1212
www.japanarts.co.jp

◎東京オペラシティチケットセンター 03-5353-9999

◎チケットぴあ t.pia.jp [Pコード 245-897]

◎イープラス eplus.jp

◎ローソンチケット l-tike.com [Lコード 33014]

一般発売

8/5(土)

10:00

ジャパン・アーツぴあ
オンラインチケット

抽選先行受付

7/1(土)10:00

先着先行受付

7/8(土)10:00



©MaxParovsky

音楽の中心ウィーンとベルリンをベースに活躍する7人が今年も帰ってくる！今回は国際派の女優、中谷美紀とのコラボレーションによるカーニバル「謝肉祭」を世界初演。お馴染みのサン＝サーンスの「動物の謝肉祭」をベースにメンバーが奇想天外な発想でアレンジした楽曲に、中谷美紀が朗読で加わるという最上のパフォーマンスは必見です。

PROGRAM

アフタヌーン・コンサート・シリーズ 2023-2024

昼公演 13:30開演

- F. マークス(コンツ編): ドント・ストップ・ミー・ナウ
Freddy Mercury / Stephan Konz: Don't Stop Me Now
- レノン=マッカートニー(ギュルトラー編): イエスタデイ
Lennon-McCartney / Sebastian Gürtler: Yesterday
- ベートーヴェン(コンツ編): スウィング・オン・ベートーヴェン
Stephan Konz: Swing on Beethoven
- オーストラリア伝承曲(コンツ編): ワルティング・マチルダ
Stephan Konz: Waltzing Matilda
- J. ウィリアムズ(コンツ編): カンティーナ・バンド
John Williams / Stephan Konz: Cantina Band

夜公演 19:00開演

- バルトーク(コンツ編): こどものために
Bela Bartok / Stephan Konz: Gyermekseknek
- ピアソラ(コンツ編): フーガと神秘
Astor Piazzolla: fuga e misterio
- ギュルトラー: laumas kasas
Sebastian Gürtler: laumas kasas
- ギュルトラー: judz tautietis
Sebastian Gürtler: judz tautietis
- コンツ: ciocarlia
Stephan Konz: ciocarlia

昼夜公演共通

「カーニバル(謝肉祭)」朗読: 中谷美紀
(サン＝サーンス「動物の謝肉祭」に独自の解釈を加えたオリジナル組曲。主な演奏予定曲)
J. ウィリアムズ: 「ジュラシック・パーク」よりテーマ
John Williams: Themes from Jurassic Park
H. マンシーニ: ピンクパンサー
Henry Mancini: Main Theme (From "The Pink Panther")
サン＝サーンス: 白鳥 他
Saint-Saëns: Swan and more

フィルハーモニクスウィーン=ベルリン
Philharmonix THE VIENNA BERLIN

オーケストラ界の2つの頂点、ウィーン・フィルハーモニー管弦楽団とベルリン・フィルハーモニー管弦楽団のメンバーとその仲間たちによる魅惑の凄腕アンサンブル。超絶テクニクをベースに、クラシック、ジャズ、ラテン、ポップスなど多彩なジャンルの音楽が持つ本質とエッセンスを融合させ、才気溢れる新たな解釈で披露するクラシックのエリートたちによる演奏体験は常に聴き手を心酔させている。グラモフォンからリリースされたアルバム「PHILHARMONIX The Vienna Berlin Music Club」Vol.1 2018年のOpus Classic Awardを受賞。ヨーロッパでは2022年にVol.3がリリースされた。Philharmonixの7人は今や世界中の音楽ファンから引く手あまたである。

ノア・ベンディックス=バルグリー (第1ヴァイオリン)
Noah Bendix-Balgley, 1st Violin

2014年よりベルリン・フィルの第1コンサートマスターとして活躍する。ソリストとして世界の著名オーケストラと共演し室内楽演奏にも情熱を注ぐほか、クレスマー音楽の演奏と継承をライフワークにしている。

セバスチャン・ギュルトラー (第2ヴァイオリン)
Sebastian Gürtler, 2nd Violin

オーストリア出身。1997年から2008年までウィーン・フォルクスオーパー交響楽団で第1コンサートマスターを務めた。室内楽奏者としての活動に注力し、フィルハーモニクスでは積極的に作曲や編曲に携わる。

ティロ・フェヒナー(ヴィオラ)
Thilo Fechner, Viola

ベルリンの音楽一家に生まれる。2004年にウィーン国立歌劇場管弦楽団に入団、同年ウィーン・フィルのメンバーとなる。同楽団ではツアー・マネージャーとして、「サマーナイトコンサート」のプロジェクトマネージャーを務めている。

シュテファン・コンツ(チェロ)
Stephan Konz, Cello

ウィーン生まれ。2010年にベルリン・フィルに移籍。ヴェルビエ祝祭室内管の首席奏者も務め、「ベルリン・フィル12人のチェリストたち」のメンバーとしてたびたび来日。作曲、指揮活動もこなす。

エーデン・ラーツ(コントラバス)
Ödön Rácz, Contrabass

2009年よりウィーン・フィル首席コントラバス奏者を務める。ソリストとして世界の数々の一流楽団と共演し、屈指の超絶技巧と称えられる。ドイツ・グラモフォンからポツェシーニのコントラバス協奏曲をリリースしている。

ダニエル・オッテンザマー (クラリネット)
Daniel Ottensamer, Clarinet

ウィーン生まれ。ウィーン・フィル首席クラリネット奏者。ソリストとしても世界中で活躍し、ベルリン・フィル首席クラリネット奏者の弟アンドレアス、ピアノのトラクスラーとともに「クラリッツ」を結成。

クリストフ・トラクスラー(ピアノ)
Christoph Traxler, Piano

オーストリア出身。ソロ・リサイタルのほか、ウィーン・フィルとベルリン・フィルのメンバーと室内楽、ウィーン・フィルのピアノ奏者としても活動する。2022年秋からウィーン国立音楽大学の教授に就任。

中谷美紀 Miki Nakatani

1976年生まれ。1993年に俳優デビュー。「壬生義士伝」(03/ 滝田洋二郎監督)で日本アカデミー賞優秀助演女優賞、「嫌われ松子の一生」(06/ 中島哲也監督)で同賞最優秀主演女優賞、「自虐の詩」(07/ 堤幸彦監督)で同賞優秀主演女優賞、「ゼロの焦点」(09/ 犬童一心監督)で同賞優秀助演女優賞、「阪急電車 片道15分の奇跡」(11/ 三宅喜重監督)で同賞優秀主演女優賞、「利休にたずねよ」(13/ 田中光敏監督)で同賞優秀助演女優賞を受賞。2007年日本・カナダ・フランス・イタリア・イギリス合作映画「シルク」(フランソワ・ジラルド監督)に出演。2015年の日本・フランス合作映画「FUJITA」、2023年には、ニューヨークにて舞台「狼銃」上演と、その活動は多岐にわたる。書籍の執筆活動も手掛けており、最近の著書には「オーストリア滞在記」(幻冬舎文庫)がある。
インスタグラム @mikinakataniofficial

特別割引チケット

ジャパン・アーツびあオンラインチケット及びジャパン・アーツびあコールセンターで受付。

- ◎シニア・チケット: 65歳以上の方は、13:30公演は指定席¥6,800にて、19:00開演はSY¥7,600、AY¥6,300にてお求めいただけます。
- ◎学生席(各席種とも特別料金): 残席がある場合に限り、2023年10月13日(金)10:00から受付を開始いたします。社会人を除く公演当日25歳までの学生対象です。当日は学生証をご提示の上、ご入場ください。(学生証がない場合、一般価格との差額を頂戴いたします。)
- ◎車椅子の方は、本人と付き添いの方1名までが割引になります。(ジャパン・アーツびあコールセンターのみで受付)

その他の日本公演

12/12(火)19:00
川商ホール(鹿児島市民文化ホール)
TEL099-257-8111

12/15(金)19:00
フェニーチェ堺(堺市民芸術文化ホール)
TEL072-223-1000

【次のことをあらかじめご承知の上、チケットをお求め下さい。】①やむを得ない事情により、出演者、曲目・曲順等が変更になる場合がございます。②公演中止を除き、お買い求めいただきましたチケットのキャンセル・変更等はできません。③いかなる場合もチケットの再発行はできません。紛失等には十分ご注意ください。④演奏中は入場できません。⑤未就学児の同伴はご遠慮ください。また、就学児以上のお子様もご入場には1人1枚チケットが必要です。⑥全席指定です。指定のお席でご鑑賞ください。⑦場内での写真撮影・録音・録画・携帯電話等の使用は固くお断りいたします。⑧ネットオークションなどによるチケットの転売は、トラブルの原因となりますのでお断りいたします。⑨他のお客様の迷惑となる場合、主催者の判断でご退場いただく場合がございます。

Twitterでフォローする @japan_arts

ウィーン・フィルとベルリン・フィルの仲間7人によるエンターテインメント、第3弾!



- フィルハーモニクスの3作目のアルバムは、このアンサンブルの音色の幅広さを表しています。13曲の新しい作曲・編曲、クラシック、スウィング、フォーク音楽からポップまで、すべての音楽ジャンルを網羅しています。
- 悲劇的な死を遂げたオーストリアのポップ・レジェンドに捧げられた曲「Requiem for Falco」、R.シュトラウスの「サロメの踊り」の素晴らしい編曲などをメインに、伝統民謡の綿密な探求、クレスマー音楽、コサックの合唱、オーストリアの悲しみ、フランス風生き方、バラライカなど、どれもフィルハーモニクスにぴったりの曲ばかりです。

PHILHARMONIX フィルハーモニクス

ウィーン・ベルリン・ミュージック・クラブ VOL.3

VOL.3



【収録曲】 ①Requiem for Falco (ヨハン・ヘルツェル、フェルディナンド・ポランド、ロバート・ポランド) ②Zute Dunje (ボスニア/ブルガリア伝承曲/ギュルトラー編曲) ③ユーモレスク (ドヴォルザーク/コンツ編曲) ④サロメの踊り (R.シュトラウス/ギュルトラー編曲) ⑤ワルツング・マチルダ (オーストラリア伝承曲/コンツ編曲) ⑥Mad Mule (伝承曲/コンツ編曲) ⑦コル・ニドライ (ブルッフ/コンツ編曲) ⑧Odessa Bulgar (伝承曲/ベンディックス=バルグリー編曲) ⑨フーガ 八長調 (ショスタコーヴィチ/トラクスラー編曲) ⑩Heartless (マークス・デイヴィー/ギュルトラー編曲) ⑪バラ色の人生 (ルイ・グリエルム/コンツ編曲) ⑫ルートの夢 (セバスティアン・ギュルトラー) ⑬夏のファンタジー (映画「ラ・ブーム」より)(ウラジミール・コスマ) 品番: 356-5344 発売中